

トラック1

[Episode 1 邂逅と契約の刹那]

止まりなさい。そう、そこのあなた。

何故私を尾行しているのかしら？

ふふつ…とぼけても無駄よ。

気付かれていないとでも思つた？

さつきからずっと、足音が丸聞こえなの。

そんなんじや、猫一匹だつて捕まえられないわ。

音を殺して歩くのは基本中の基本。

あなたの組織は、その程度のことも教えてくれなかつたの？
こんなド素人に狙われるなんて、随分と舐められたものね：

それで、この私。

法龍院刹那に、何の用？

んなつ、常盤ミチル…ですつて…？

やめなさい。それは私の真名。

下賤な者がおいそれと口にしていいものではないわ。

というか、何で知つてるの…

まさか、組織の情報網はもうそんなところまで…

…つて、あなた。よく見たらウチの学校の制服じやない。

んー、そういえばその顔も、何だか見覚えがあるよう…ないよう…？

ああ、そう。同じクラスなのね。失礼。

私、ただの人間には興味がないから。

いちいちクラスメイトのひとりひとりまで、顔や名前を覚えてはいないのよ。

でも、こんな時間にどうしたの？

もうとつくに、授業の開始を告げる鐘は鳴つてゐるでしょう。

成る程…ふつ、読めたわ。

あなた、遅刻したのね。

ここは通学路なのだから、私が学校に向かえば当然、あなたも同じ道を辿ることになる。
ずっと私の後ろを張り付くように歩いていたのにも説明がつくわ。

QED…証明完了。

なに、寝坊でもしたの？

布団の中は気持ちがいいものね。

虚無から誘いに抗えないのも無理はない。

くくく、愚かな人間。

ほら、のんびり歩いてないでもっと急がないと。

もし見つかったら、先生の逆鱗に触れてしまうわよ。

ん？ 私はいいの。

何故なら私は、異世界セレスティアから来たれし、闇の力を司る魔族。

この世の理から逸脱し、常識を超越した存在…

学校側が勝手に決めた始業時間など、この法龍院刹那の前では意味を成さないの。

…何？ その可哀想なものを見るような目は。

まあ…あなたみたいな無知なる者には、

高尚なる私のことなど理解できなくて当然なのだけれど。

ま、それはそうとして…ふむ。

あなた、男よね。少なくとも生物学上は。

うん。なら丁度、アレを頂く絶好の機会かも…
間違いないわ。

この出会いは偶然ではなく、定められた運命…
ちょっと着いて来なさい。

学校なんていいから。ほら！

えーっと…そうね、この辺りが密みつじ事を行うのには最適かしら。

こんな路地裏なら誰も来ないでしょし、人に見られる心配がないわ。

さあ、あなた。ペニスを出して。

聞こえなかつたの？ ペニスよ。陰經いんけい。男性器。

俗世ぞくせでは、おちんちんとも呼ばれているアレよ。

あなた、ついているのでしょうか？

何故つて…ああ、説明がまだだつたわね。

私は故郷である異世界へと通じるゲートを開く為、

夜な夜な儀式の準備を行つてているのだけれど。

…ほら。

この魔術書によると、儀式の材料に人間の生命の元…精液が必要らしいのよ。

そんなのどこにも売つていないから、どう調達したものか苦心しててね。

ならばもう直接、人間から採取するしか手に入れる方法がないじやない。そう考えていたところで都合よく、私の前にあなたが現れた…

というわけで、あなたの精液を少し分けて貰うわ。

構わないでしょ？

何よ、疑つてるの？

この魔術書の信憑性は高いわ。

なんと言つたつて、古本屋で一万円もしたのよ。

年代物だし、どことなく魔力のようなものを感じない？

感じるのよ。

なげなしのお小遣いで買ったんだから、ケチをつけないで貰えるかしら。

そんなことより…

ねえ、早く。時間は有限なのよ。

もたもたしないの。

ズボンを下ろして、あなたの大事な肉棒を召喚しなさい。んつ…しょ、いですよ…えい！

んあつ…これが人間のペニス…

へえ、初めて見るけど、意外と小さくて可愛いのね。

さしづめキャタピラー、レベル3と言つたところかしら。
おちんちん、なんて間の抜けた呼び方をするのも納得だわ。
じゃあ精液を出して頂戴。

手のひらの上でいいから。はい。んつ。

…ねえ、まだ？

えつ、出せないつて…どうして？

精液はペニスの先っぽから出るつて、保健体育の授業で習つたわよ。
寝てたから詳しくは知らないけど。

え？ ふーん。触つて、刺激してあげないといけないんだ。

そういう仕組みなの。

ふむ、仕方ないわねえ…

ん…しょ…

どうすればいいの？ 指で摘んで…」う？

手を前後に動かして、擦つてあげるのね。

ん…ふう…

これで…いいのかしら？

ん…しょ…んつ…

んー…？ なに、顔が近いつて？

これくらい近づかないと、上手く擦れないでしょ…我慢しなさい。

ん…ふう…

痛くない？ もつと優しく？

ええつと、こんな感じ？

ふう…ふう…ん…

小さくて、擦りにくいわね。

ちゅーちゅこ…ちゅーちゅー…

これで合つてる？

ちゅーちゅこ、ちゅーちゅー…

あれ…ちょっと…おちんちん、ムクムクつて膨らんできたんだけど…

あつ…あつ…何これ…どんどん大きく…嘘…

おちんちんが、エボリューションした…？

これは…モンゴリアン・デス・ワーム…実在したというの…？

さつきまで、あんなに小さくて可愛いザコモンスターだったのに、

こんな禍々しい姿になってしまったんだなんて。

ああ…まさか、何てこと…

私の闇の魔力の影響で、

知らずの内にあなたを獰猛な怪物に進化させてしまったのね。

罪深いことをしてしまったわ…

またひとつ、カルマを背負うこと…

え、違う？ 勃起…？ ただの生理現象…なの。

もう、紛らわしいわね。

じゃあ、このまま続ければいいのかしら。

ん…しょ…ん…しょ…

スリスリ…スリスリ…

わっ…先端から何だか透明で、トロトロした液体が出て来たわ…

白くないし、これは精液…ではないのよね。はつ…まさか溶解液…！

これは戻で、精液を奪おうとするこの私を、

ドロドロに溶かしてしまう気なんじや…

ん…？ ふうん…我慢汁って言うの。

害があるものではないんだ。

ペニスからは色々な液体が出るのね。

不思議…とても興味深いわ。

ん…しょ…ん…しょ…

どう…かしら…上手く出来てる？

ふつ、当然よ。

この程度のミッショソ、私にかかれば造作もない。

ふふつ…見なさい、こうやつて。

ん…しょ…ん…しょ…

我慢汁を手のひらに塗り広げて、竿を擦ると…

んしょ…

ヌルヌルで潤滑剤代わりになるの。

スリスリ…スリスリ…ほら、ね。

こんなことを思いつくなんて、天才かしら。

己の才能が恐ろしい…

スリスリ…スリスリ…

ん…しょ…ん…しょ…ふう…

んあつ…手のひらに、血の滾り^{たぎ}が…伝わって来る…熱い…んつ…

はあ…はあ…

感じるわ…

肉棒が、心臓のようにピクピク脈動して…パワーが高まって行くのを…

そう、エネルギーが充填^{じゅうてん}されているのね…

これ、凄く…変な感じ…

この感覚は何？

あなたのペニスを触つてると…

どうしてだか、胸の奥でズキズキとした疼き^{うず}が…

んつ…はあ…はあ…

闇の力が…身体の中で、暴れ回つて…暴走…

んんつ…くう…なんてこと…食い止めなければ…うつ…

はあ…はあ…あつ…はあ…

どう…したの？

息が荒くて、あなたも何だか苦しそう…

本当につらい？

だつたらもう、やめるけど…

ん、違う？ 気持ちいいの？

ふつ…ふふつ…そう…♪

気持ち…いいんだ？

こうやつて、ペニスを擦られると。

指で優しく触つてるだけなのに、苦悶^{くもん}に満ちたような表情…浮かべちゃつて…

ここつてそんなに敏感、なのね。

ん…はあ…はあ…ふう…

身体が…震えているわ。

ペニスが疼^{うず}いて、苦しくて。でも気持ち良くて、たまらないんだ。

ここ、スリスリされるの好き？

そうなの?
へえ…面白い。

ふふつ…ふふふつ…人間はなんて、か弱い生き物なんでしょうね。
肉棒一本握られただけで、心も身体も支配されてしまっている。

闇の力に抗う術を持たない哀れな者よ。あらが

んー、なあに? もつとして欲しいの?

この私に…

ふうん…それなら…お願ひ、してみたら?

ほら…ほおら…

くくつ…私に屈服しなさい。従え。

法龍院刹那ほうりゅういん せつなに忠誠を誓うのよ。

あなたを特別に、私の眷属けんぞくとして迎え入れてあげる。

嫌?じょう 股間にそびえる魔物は、もうとっくに従順じゅうじゅんだというのに。

スリ、スリ、スリ…

さわ…さわ、さわ…さわ…

ピクピクしちやつて、快感に弱いのね。
見た目に反して弱つちいじやない。

可愛い子♡

さわ…さわ…さわ…くすぐつたい?

あはつ…でもこんなんじや、きつと物足りないんでしょ。

それくらい読み取れるわ。あなたの分かりやすい反応を見たらね。
もつと強く、スリスリしないと精液が出せない…

出せないと、疼きっぱなしでとつてもつらいの。うず

さわさわ…さわさわ…足りない…足りない…

さわさわ…さわさわ…もつと…もつと…

ふふつ…解放したいでしょ?

ペニスに溜まった力を解き放ちたい…
だつたら、素直になればいいのよ。

私の物になりなさい…

そうしたら、今以上の極楽が待つて いるわ。
怖がることは ないの。

闇の世界に堕ちて、魔の力に翻弄される事にならうとも…

私が、側にいてあげるから…ね？

ほら…どうしたの。返事は？

ふつ…やつとその気になつたようね。いい子だわ。
では…契約の口づけを交わしましょう。
ええ…そうよ。

主従契約は、契約の呪文を唱え接吻とうぶんをするものと、相場が決まっているの。
そういうものなの。行くわよ…

あるじな まよ
主無き迷い子に告げる…

汝の身は我が元に。我が力は汝と共に。

法龍院刹那ほうりゅういんじつなを主あるじと認め、従属を誓い、命運を共にする覺悟こころうがあるのなら…

その魂を、我に差し出せ。さあ、應えよ。

んつ…ちゅ…くちゅ…ちゅぱぱ…ちゅつ…んんつ…

はあ…はあ…

くくつ…契約完了よ。

破滅へと誘う禁断のキスは、甘い蜜の味…は、別にしなかつたけど。
なんて言うか…変な気持ち。
言語化できないわ。
でも何だか…満たされる。

もちろん初めてよ。キスなんて。
なんて言うか…変な気持ち。
言語化できないわ。
ね、キス…もつとしていい？

いいえ、しなさい。
あるじ
主の命令だから。

あむ…ちゅ…ちゅ…ちゅる…ん…ちゅ…
くちゅ…ちゅぱ…ん…ちゅぱ…ちゅる…くちゅ…ちゅ…

んはあ…んちゅ…ちゅる…ちゅ…くちゅくちゅ…ん…はあ…ん…

はあ…はあ…んあ…

ちよつと…熱くなつてきた…何故?

身体の奥が…灼熱に飲まれるような…

これは、イブリースの炎…喜びなさい。

魔の王も、この契約を祝福して いる。

さあ征くといい。我が従僕よ。

その力を、今すぐ解き放て。

んつ…んつ…はあ…はあ…

スリスリ…スリスリ…ふふつ…

もつと、もつと、スリスリ…スリスリ…

あなたが持つ、秘藏の精液…生命の滴を…その姿を、私に見せよ。

はあ…はあ…ん…はあ…はあ…

ん…ちゅ…はあ…ん…ちゅ…くちゅ…

ちゅく…ちゅる…ふは…

ちゅ…ん…ちゅくちゅく…ん…ちゅ…んちゅ…はあ…はあ…

おちんちん気持ちいい? うん?
もう、我慢は要らないのよ…

出せ…出せ…精液…出せ…

ほら…出せ…おちんちんから…出しなさい…

さあ…従僕よ…出せ…出せ…出せ…

ちゅ…ん…ちゅく…ん…くちゅ…はあ…ちゅ…ちゅる…
くちゅ…ちゅ…んちゅ…ちゅ…んは…あむ…ん…ん…ちゅ…

はあ…はあ…

出ちやいそ うなの?

あはつ…いいわ、出しなさい。

溜まりきつた、闇のエネルギー…あなたの、精液。

私の手のひらに、今こそ吐き出せ…!

出せ、出せ、出せ、出せ…!

んつ…んおおつ…! あつ…あつ…

びゅるびゅる出でる…!

何これ、すぐつわつんあつ…！

はあ…ん…はあ…はあ…

これで、全部？

ふうう…白くて、ゼリーみたいにプリプリしてゐる…
わあ…なんて濃い魔力…これが…精液だというの？

すんつ…

うつ…匂いもきつい…

でも…もつと嗅ぎたくなる…
どうして…？

すんつ…すう一つ…

んはあ♡

これ、危険だわ…脳がジワジワ…汚染されてゐる…

胸が…苦しい…酸欠みたいに、クラクラする…はつ…はつ…ん…はあ…

むしば

くつ…この私が…瘴気にあてられ…理性を…蝕まれるなど…

はあ…はあ…ああ…

精液…精液い…んつ…

じゆるつ…

美味し…そ…

ふ一つ♡ ふ一つ♡ ふ一つ♡

んつ…ちゆるる…じゆる…んはつ…んちゅ…じゆるるう…くちゅ…
んつ…んくつ…ちゅ…れろれろお…ちゅ…れろお…

はつ…はつ…はつ…

げええつ…

んつ…はつ…

ふ一つ♡ ふ一つ♡ 美味し♡

んあつ…あれ？

何故…儀式に必要なものだつたのに…つい飲んじやつた…
はあ…ん…はあ…はあ…

ん…まあいいわ…それに関しては。

必要になればいつでもまた、従僕から搾り取ればいいだけだもの。
それより、この異様な胸の高鳴り…ただ事じやないわ。

精液が原因?

…ふむ。どうやらこの現象、調べてみる必要がありそうね。

ふつ、忙しくなってきたわ。

ちょっと、何を惚けているの?

私、用事が出来たから帰るけど。
あなたは早く学校に行きなさい。

我が眷属になろうとも、あなたは一介の学生。

人間社会に溶け込むよう、しつかり務めるよう

いい? 私の可愛い下僕。

では…やうばつ!

トラック2

〔Episode 2 福徳と覚醒の儀式〕

従僕……我か従僕よ……我的呼び掛けに応えよ……

アーティナーの導きに従い、混沌極めしこの聖なる学舎に…

法龍院刹那、
参上……！

何よその間抜け面は

この世界は、異界より来た
シャギツとしなぎい従僕

侵略されようとしている…

最終戦争…テクナロクは近い。
奴らに隙を見せたらあつという間にあの世行きよ。

寝首を搔かれないようには常に危機感を持ちなさい。

そんなことよりあなた、ちょっと着いて来て。

これから音楽の授業？ そんなのいいから。

ほら、つちー！

んつ……」ら、大人しくしなさい従僕……つ！

女二十歳の何だといふ。

そんなくだらない常識、捨ててしまいなさい…！

心一ノはおどり一

はあ…はあ…

うは二は心うム)心)。

そういう契約なの。

三木の命に紅葉勝徳いい

ん：理解したよね。

今日は私の、神聖なる実験に付き合つて貰うから、立場はしつかりわきまえて。

先日あなたへ「生命原液」

通称精液を貰つたあの時、私に起きた現象…
調べてきたわ。封印されし禁書の力をも借りてね。

そう、あれは大変なミッショングリだつた…

だけど危険を冒して、

エイティーンアダルトオンラインの結界を破り手に入れた情報…
実に興味深い内容だつたわ…

あかつき
暁 が星々を消し去るまで、熱中して読みふけつてしまふ程に。

おかげで多くの知見ちけんを得ることが出来たわ。

そして辿り着いた仮説。たどり

それを確かめる為に、次に行うのは検証…というわけ。

服を脱がすから、じつとして…

そう、いい子ね。騒ぐと良くないわ。

今、ここにいることに気づかれて困るのはあなただもの。ふふつ…

ん…しょ…

あはつ…可愛い乳首が出て來た。

ここ、敏感なところなんですかね？

マスターーション…オナニー…って言うんだつたかしら？

それをする時に、自分で触つたりするの？ ん？

隠さなくともいいじゃない。

禁忌きんきの書物に書いてあつたわ。

人間は年頃になると、

頭の中を性欲に支配され、オナニーばかりするようになるつて…

私は今までしたことないんだけど。

あなたはそなんでしょ？

スケベそうな顔してるし。

この、膨らんでいる先っぽ…

つんつんしてあげると気持ちいいのよね？

ほら。こうやつて人差し指で、ふたつの乳首を…つんつん♪

突起の頂点を…優しく、つんつん♪ つんつん♪

んー、くすぐつたい？
止めて欲しいの？

知つてゐるわ。

初めはそうでも、段々と気持ち良くなつちゃうのよね。
ほおら、つんつん♪ つんつん♪

目覚めよ…今こそ真の姿を現わせ…

つんつん♪ つんつん♪

見なさい。乳首がぷつくりと固くなつてきた。

いくら口では拒否しようが、体は正直というわけね。くくく…

身心一如…つまり、肉体と精神は分けることができない 一体のもの。

体が墮ちれば、心も自ずと…ふ…

さあ、素直になりなさい…

本当は触つて欲しいんでしょ？

指の腹で、コリッコリの乳首を優しく…

すりすり…すりすり…すりすり…すりすり…

鼻息が荒いわよ。ふつ、ふつ、つて。

感じやすいのね。軽く撫でてるだけなのに、そんなに悶えちゃうんだ…

すりすり…すりすり…すりすり…すりすり…

我慢、しなくていいのよ？

皆は授業中だから、少しくらい声を出しても誰にも聞こえないわ。

ねえ、ほら…私に、あなたのいやらしい声を聞かせなさい。

繰り返すけど、命令には絶対服従…だからね。ふふ…

乳首の周りを、くるくる…くるくる…

乳輪をなぞるよう…、くるくる…くるくる…

はあ…はあ…

焦らすように、そーっと…ゆーつくり…

くるくる…くるくる…

指先で、くすぐるよう…、さわさわ…さわさわ…

ジワジワと…快感が全身に広がっていく…

神経が昂ぶつて…どんどん敏感に…気持ち良くなつていく…
たか

くるくる…くるくる…さわさわ…さわさわ…

気持ちいい…気持ちいい…つて…

甘ーい快感で…脳みそが支配されていく…

くるくる…くるくる…さわさわ…さわさわ…
もつと…もつと…触つて欲しいでしょ？

ピンと勃起したこの乳首、強く…刺激して欲しいって。

焦らされるのはつらい？ つらいわよね。
ご主人様の手で、解放されたくない？

激しく弄くられて、^{のほ}上り詰めたいでしょ。

きちんとおねだり出来たら…考えてあげてもいいわよ。
どうなの、従僕…？

はあ…はあ…

ふ…ふふ…ふふふ…
ゾクゾク、しちゃうわ。

そんな反応されたら…ね。

これがサディスティックな快感、というもののかしら。
獲物を追い詰めて、あと一歩というところで舌舐めめずりをするハンターは…
きつとこんな気持ちなのでしょうね。

ほら…負けを認めるのよ…白旗をあげ、命乞いをするかように…

無様に、媚びるように、乳首をいじめてくださいと…
お、ね、だ、り…しなさい。ほおら。

んん…？

ふふつ…上出来だわ。

あなたは優秀な従僕ね。

お望み通り、

その欲しがりなエロ乳首を摘み上げて、たっぷり可愛がつてあげる。

ん…

さあ…意識を集中、研ぎ澄ませなさい…

はあ…はあ…

焦らされて、敏感になつてるのでふたつの突起に…

いい？ ご主人様からの褒美…謹んで受け取るのよ…
ふふつ、ほおら…えいっ。

くりくりくりくりいい♡

もつと、感じるのよ♡
くり、くり、くり♡

ぐりぐりぐりぐりい
あなたの乳首…私の指先でつねられて、とっても喜んでる
ほら。もっと、もっと

あなた…私の指先でつねられて、とっても喜んでる
あなた…私の指先でつねられて、とっても喜んでる

乳首こねくり回されて、歓喜の声を上げろ
理性を捨て去った、みつともない喘ぎ声を聞かせろ

ぐりぐり、ぐりぐりぐりい

あははつ いいわよ、その反応

ぐりぐり ぐり、ぐり、ぐり

こういうのも好みかしら?

カリカリカリカリ、カリカリカリ
爪の先で引っ搔くように。

カリカリ、カリカリカリ
ふふつ。彈力のある乳頭が、

弾かれる度にぶりぶりと跳ね回っているわ
カリ、カリ、カリ

ほおら 気持ちいいでしょ? 気持ちいいわよね

カリカリカリ、カリカリカリ

ねちっこく、押し潰すように…

くにくにくに、くにくに
もつと強く…激しく

くにくにくに、くにくにくに

あなたの乳首。抵抗して、指を跳ね返そうとしてくるわ。

くくく…反乱分子は徹底的に押し潰す

くにくにくに、くにくにくに

生意気に勃起したエロ乳首は鎮圧すべし

くにくにくに、くにくに
くくつ…背中、海老反りにしちゃつて…

快樂の電流で脳みそを焼かれているのかしら。

可哀想に…

でも、容赦などしないわ。

まだまだ、攻撃を止めはしない。

くにくにくに、くにくにくに

ピクピク震えて、苦悶に悶えていようとも

くにくにくに、くにくに
くにくにくに

はあ…はあ…んふう

盾突いた者はどこまでも追い詰めて、
絞め上げる。むぎゅう。

何度も何度も 抵抗の意志をなくすまで
ぎゅ、ぎゅ、ぎゅむつ、ぎゅぎゅう

はあ…はあ…ん…

そうよ…もつと、もーつと…気持ち良くなれるでしょ?

さあ。その口から喜悦の声を聞かせるの。

あなたの恥態で、私を心行くまで楽しませなさい♡

乳首カリカリ♥ カリカリ♥

はあ・はあ・はあ
♡

指で捕まへて、ぐりぐり、ぐりぐり、
憂ぐねぐるような動きで、ぐりぐり

ゆつくり、繊細に：

卷之三

高速で弾くように…指で乳首を、ピンピン♥つて…連續で…

はあ
…
ん
♡

これ、好きなの？ ふふ、ほら、ほら♡

おおおんふう

ん
？

血液が滾り、
気分が高揚し……

興奮して湧き出した淫らな欲望が、

これ以上我慢できないと…そう訴えているのね？

ふ、ふふふ。んふふふつ。

はあ…はあ…んはあ。体の奥から、ジワジワと湧き出るユーフォリア…あの時と同じ、胸の高鳴り。この揺さ振られるような幸福感。

はあ…んはあ…。素晴らしい。そう、これだわ。

これこそ、私が求めていた生の充足…！レゾンデートル…存在理由。本当の自分。仮説は間違つていなかつた。

その証拠に、今…内に秘められし魔族の本能が躍動し、真の力が目覚めようとしている…！はあ…ふう…ふう。

ふふふふつ♪

実証は完了したけど、本番はこれからよ。

では、従僕…私の覚醒を促す為、次のステージへと移行するわ。

この、さつきから落ち着きなく腰をへこらせてアピールして、下半身の肉杭…。さあ、出しなさい…

ん…しょ…ん…はあ…。

んあつ、パンツを下ろした瞬間バネ仕掛けの装置のように飛び出して來たわ。ビンビンと力強く反り返つて…すつづくイレクションしてやる。

垂れ下がった陰囊の中ではあの、濃厚な子種汁がぐつぐつと活力をみなぎらせているのね…

今でも鮮明に蘇る…あの匂い…味…喉越し。

あれはまさに、脳髄を焼く至高の美酒。

ああ…たまらないわ。

ん…はあ…はあ…

すん…すん…

んあ…ムワアつて…広がる、この匂い…はあつ…きつ…

んつ…はあ…

蒸れたペニスの…とてつもなく濃い性臭せいしゅう♡

すん…すん…ん…はあ…すん…ふはあ♡

強烈…だわ。鼻が曲つてしまいそう。
でも、これ…好き。癖になる…んつ…

こんなに臭いのに…いつまでも、嗅いでいたくなるの…

すん…すん…すー…んはあ♡

屈強なオスの象徴…獲物を貫く肉の槍。

灼熱の、熱き血潮を滾らせてそそり立つ…ケルトハルのルーン…

こんな逞たくましくて勇ましい、誉ほまれれ高き名槍めいそうを見せられては…

尊敬の念を込めて…キス、したくなつちやう。

ん…ちゅ…くちゅ…ちゅ…ちゅぶ…はあ…

ふふ…私の柔らかい唇を使って、肉棒の先っぽから根本まで。
丹念に磨き上げるように…

ちゅ…ちゅ…くちゅ…くちゅ…ちゅ…んちゅ…はあ…ちゅ…ちゅる…
ん…ふう…ちゅく…ちゅる…ちゅぶ…んちゅ…ふは…

裏側も余すことなく…

ちゅ…んちゅ…んちゅ…くちゅ…ちゅる…ちゅる…
くちゅ…んあ…あむ…ちゅ…ふ…ちゅ…んちゅ…ふは…

綺麗に…なつたかしら?

んあ…先っぽからトロつとした汁が出てきたわ…

これは我慢汁ね。ちゃんと覚えてるわよ。

あつ、垂れちゃう…

あむ…ちゅ…ちゅる…ちゅ…れろお…んあ…

苦くて、ちょっと舌が痺れるわ。

でも、嫌いじゃない。

むしろ…食欲を唆る味。

唾液が溢れてきて、体がこれを求めてる…ん…もつと…

ん…ちゅ…じゅる…ちゅ…んむ…ちゅ…ちゅるる…ちゅ…
ちゅ…んちゅ…くぼつ…ちゅう…ちゅば…ん…ちゅ…んは…ちゅるる…
そそ

くちゅ…気持ちいい？ ん…ちゅふ…

こんなこと、初めてなんだから…多少下手なのは…ちゅ…
見逃しなさい…

ちゅ…ちゅるる…んは…くちゅ…じゅる…ちゅ…
ん…くちゅ…ちゅる…ちゅ…んちゅ…ちゅ…ちゅるる…じゅ…
ん…我慢汁…舐め取つても、次から次へと、どんどん溢れてくる…じゅる…
あふ

感じて、くれてるのね…ちゅ…ん…
この、くびれてると…？

ここが気持ちいいの？

んちゅ…ちゅ…じゅる…くちゅ…くちゅ…ちゅるる…ちゅ…
…

ふ…ん…唇すぼめて、縫付けながら…擦り上げると…いいのね…じゅるつ…
…

ん…ほっぺもへこませて…内側を肉棒に、ぴっちりくつつけたら…

吸い付くように…んちゅうう…はあ…

舌も…動かして…しつかり唾液を絡ませながら、竿を…じゅる…ぐぼ…じゅるる…
こんな…感じ？

じゅるる…ぐぼ…ぐぼ…んちゅ…れろれろお…ん…じゅぼ…じゅぼ…
ちゅるる…にゅぶ…ちゅ…ぬぶぶ…

はむ…ん…じゅぶぶ…くちゅ…むちゅう…じゅぼ…はあ…

なあに、そのとろけ顔は♡

ふふつ、最高に気持ちがいい…そう言いたそうね。
大分コツが掴めてきたわ。

我慢しなくていいのよ？

好きな時に、口の中に精液を出しなさい。

たっぷり、びゅーびゅーって。

欲望を解き放つの。ほら♡

ん…ちゅ…んちゅ…じゅるる…じゅふ、じゅふ、じゅふ…んふう
ちゅ…じゅるつ…んあ…ちゅ…れろお…んちゅ…じゅるるう…
じゅふ…じゅふ…じゅる…んは…くちゅ…ちゅるる…んあ…
ちゅ…じゅるるう…にゅぼつ…にゅぼつ…ちゅるるう…
んもつ…んつ…じゅぞぞ…んちゅ…じゅぼ…じゅぼ…じゅるるう…んはつ…
はあ…はあ…
早く…出しなさい…
もう、我慢できないわ…
欲しいの…精液…早く…
この体の疼きを、渴きを、癒せるのはあなただけなの。
はあ…んはあ…
私を酔わせ、狂わし、覚醒へと導く魔性の媚薬…
出せ…出せ…
はむ…ちゅるるう…にゅぼつ…にゅぼつ…じゅるるう…ちゅぼ…
んちゅう…じゅるつ…じゅる…じゅぼぼお…
早く…んちゅ…早く…にゅぼつ…ちゅるるう…ちゅぼ…
イツ…おちんちん…ちゅ…じゅぼ…
射精…しなさい…
んあ…出そう?
出して…
ちゅつ…じゅぼ…出せ…出せ出せ出せ…
むちゅ…じゅるる…くつきい精液、出せ出せ…
口の中に、いっぱい吐き出せ…
ちゅ…じゅぼ…じゅぼ…

イケ…イケ…イケ…

ちゅ…じゅる…んつ…むぐつ…じゅぽぼつ…むちゅう…ちゅぽつ…
じゅるつ…じゅぽつ…じゅぽつ…じゅぽつ…
んつ…んつ…んつ…んつ…んつ…んぐう…んんんんつ…
じゅるるるるう…じゅぞぞつ…んはあ…

はつ…はつ…はつ…

で…出た…すこつ…あつあつザーメン、大量…
んつ…んつ…んくつ…喉に、絡みつく…
んつ…んくつ…んんつく…んはあ…

げええつ…ふ…

くはあ…はあ…はあ…くつさあ…はあ…はあ…ふはあー…
濃厚なこつてり精液、とつても美味しい…
胃の中で、魔力が吸收されている…

すみずみ

それが血管を駆け巡つて、全身隅々にまで行き渡るの…
すみずみ

乾いた大地に水が染み込むみたいに、干からびていたものが蘇るような感覚…

ふーつ…ふーつ…

あつ…くうつ…

心臓がドクドク…大きく脈打つて…く、苦しい…

ううつ！

来た、来たわ…

くうう…うつ…ふう…ふう…

凄い…感じる…はつきりと、私の中で力がみなぎつているのが…
はあ…はあ…んはあ…

くくく…

今、私は覚醒した。これこそ本当の私。
魔族として、新しい一步を踏み出したの。

そして理解したわ。私の正体は…

ありがとう従僕。協力してくれたあなたにも感謝しないと。
んー？ ふふつ。何がなんだか分からなって、そう思つてるわね。
大丈夫よ、後でちゃんと教えてあげる♪

今はただ、あるじ主の目覚めを祝福していればいい。

それじゃあ、私は行くわ。

こんな素敵なものに、退屈な授業など受けていられないもの。

また会いましょう。星の綺麗な夜に…ね♡

トラック3

〔Episode 3 徒属と愛欲の淫夢〕

はあ…はあ…ん…はあ♡

んー？　ふう…氣がついたかしら？

覚醒せし、我が力にてサンクチュアリを切り開き、夢境の地に降り立つ。

ルナティックナイト…狂氣の夜に

ほうつゅうへいんせつな
法龍院刹那…♪に推参…！

ほうつゅうへいんせつな

…ほら、ご主人様がはるばる足を運んで来たのよ。
何か労いの言葉はないわけ？

まあいいわ。私、今とても機嫌がいいから。
徒僕の無礼も許してあげる♪

ん、ンン？

ここは、あなたの夢の中よ。

徒僕の部屋に侵入したら丁度ベッドですやすや眠つてたから、
手に入れたこの力を試してみたくなつてね。

くくく…改めて唇間の件。本当に感謝するわ。

あなたのおかげで私は眞の力を覚醒させ、自分の正体を知ることができた。
私はハーフサキュバス…人間と、淫魔の間に生まれた子。

見なさい。背中から生える漆黒の羽…！

お尻から伸びる細長い尻尾…！

それらは人間ではなく、魔族であるとの何よりの証。
そして…

ふう…ふうう♡

この燃え上がるような淫欲♡

分かる？

ここ、私の第二の捕食器官…ヴァギナが、トロトロに濡れているでしょ？
生まれて初めてありつけるご馳走に、

飢えた子宮が涎を垂らして待ち焦がれてるの。
ご馳走とは勿論、あなた…人間の精液♡

あはっ、寝ぼけた頭でようやく理解したようね。
これから自分が、何をされるのか…♡

大丈夫。怖がることはないし、難しいこともないわ。
あなたは寝転がつたまま。

皿の上の料理のように、ただ美味しく食べて貰えるのを期待していればいいの。

分かつたなら早く、あなたの肉棒…おちんちん。

勃起させなさい。

疼いて止まない私の、発情淫乱おまんこ。

精子に特化した、人間のメスなんかよりも遙かに気持ちいいスケベ穴
ここに、ズプウ♡ つて突っ込むの。

あなたを神々の楽園、エリシオンへとご招待するわ♡

一度この快感を味わつたら二度と、

普通の女の子との交尾では満足できなくなつちゃうけど…♡

いいわよね。

ご主人様として、ちゃんと責任は取つてあげるから…

心置きなく堕落への道を進みなさい♡

さあほら…勃起して、私と合体しましよう?

体同士をピタツとくつつけて。

肌と肌がドロドロと、溶け合つちゃうくらい汗だくになつて。

ひとつになるの。私達は…

ふふふ…まずは唇から。連結♡

んちゅ♡ ちゅ…ちゅるるう…んちゅ…んれろお…くちゅ…じゅるるう♡
ちゅふ…ちゅふ…じゅふ…じゅふふう♡ れろ、れろ、れろれろお♡ んはつ♡

はあ…はあ♡

キス、上手くなつたでしょ?

サキュバスの血が覚醒した今、本能で分かるの。

この前はあんな拙いキスしか出来なくて、悪い事をしたわ。

あが実力と勘違いされは、サキュバスの名折れよ。

今この場で、名誉挽回させて貰うわ…♡

んむつ…じゅぽぽつ…ちゅるるう…ちゅぽつ…んちゅ…むちゅう♡
じゅりゅ…ちゅ…にゅるる…んれろれろ…れろれろお♡

ちゅふ…こうやつて、舌同士を絡ませて、貪りつゝようむに…

じゅるるう…れろれろお…くちゅ…ちゅるる…んちゅ…
柔らかくて…温かくて、気持ち…ん…いいでしょ？

お互いの唾液を…混ぜ混ぜ。

じゅるるう…くちゅくちゅ…ちゅるつ…

くちゅ…んちゅ…ちゅふ…んれろお…くちゅくちゅ…じゅるるう

ん…唇を、キュッと窄めて舌フェラ。

すば

はむつ…ちゅ…じゅぽつ…じゅぽつ…じゅぽつ…じゅるるう

ちゅ…くちゅ…じゅふ…れろれろれお…んじゅるるう

ちゅ…んちゅ…ちゅるる…んつ…じゅるつ…じゅるつ…じゅふふう

んはあ。

どう、私の本気のキスは。

下品でいやらしいドスケベなベロチュー、気に入ってくれたかしら？
ふふつ、そのとろけ顔を見れば言わずもがな…ね。

そうそう、サキュバスの唾液には催淫効果さいいんこうかがあるのよ。

獲物を強制発情させることで勃起を促し、
効率良く捕食する為に進化した特質なの。

ハーフだから純血のものより、効果は弱いかもだけど…
でもちゃんと、欲情してゐみたいで嬉しいわ。

もつと唾液を追加して、媚薬漬けにしてあげる。
交尾のことしか考えられないエロ猿みたいに、理性を無くすまで。
徹底的に…。

ちゅ…んちゅ…はあむ…ん…ちゅ…じゅるる…ちゅふ…
ん一ちゅ…れろれろ…んちゅ…ちゅ…

じゅるる…ふはつ…ん…じゅるつ…

れえろ…れろれろ…ちゅ…ちゅぱ…じゅふ…ちゅるる…

もつと…くちゅ…もつと舌を突き出しなさい…従僕…ちゅふ…ちゅるる…
甘くて痺れる性フェロモン…たつぱり吸い込むの…
んちゅ…じゅるるう…ちゅふ…ん…

美味しいでしよう…ちゅる…くちゅ…
自分からも、舌…動かして…
私の舌に、絡みつけてきなさい…

ちゅ…じゅる…くちゅ…じゅる…くちゅ…

れろれろお…んちゅ…ちゅ…

じゅるる…んちゅ…ちゅるる…くちゅ…

れろ…ちゅ…れろ…れろれろお…ちゅ…

もつと、擦り付けるように…じゅるるう…ぴたりくつづけて…
こす

ちゅ…んれれろ…ちゅふ…ちゅるつ…

涎、泡立つくらい激しく…じゅふふ…じゅるるう…

ちゅ…れろれろお…んちゅ…じゅるるう…

そう…ベロチュー、上手よ…そのまま…んちゅ…

私を求めて…愛欲に溺れるといい…

れろお…じゅぼ…ちゅるる…ちゅふ…じゅるる…れろれろお…

じゅる…ちゅ…んれろお…ちゅ…じゅるる…ちゅば…んれれろれろお…

じゅる…んちゅ…れろれろれろお…

ちゅふ…ぬちゅ…じゅるる…ちゅ…れろお…

んはあ…はあ…ふはあ♡

おちんちんはどう?

ちゃんとフル勃起できたかな?

スリスリ…うん、十分だわ♡

よい…しょ…ふう…ふう♡

ふふつ、いいわね。

とても元気な上^{うわぞ}反りペニス♡

ああ…血管浮き出てピクピクしてるう…

んんつ♡

美味しそう…ああ、食べたい…これ、早く食べたいの♡

もうずっと、お腹の奥がズキズキ疼きっぱなし♡

ムラムラ限界なの♡

覚醒したてで我慢知らずの腹ペコサキユバスおまんこ、

パクパクつてご馳走求めてヒクついてる♡

まん汁バカみたいにあふれ出して、太ももの下までもうビチョビチョ♡

はあ…はあ…ふはあ♡

いいでしょ、従僕？

おちんちん…ハメるわよ。

もつとも、あなたに拒否権はないのだけれど。

あ、それと。 予め断つておくけど。

あらかじ

加減が出来なくて、うつかり搾り尽しちゃつたら(めんない…)

ふう…ふう…んつ…

おちんちんの先っぽ…んあ…入つて…来る♡

おつ…おおつ…ほおつ…

ミチミチ…かき分けて…これ…ふとお♡

んつ…くふつ…内臓、えぐられてるみたい…

凄い、圧迫感…ふーつ、ふーつ♡

はつもの
初物おまんこ、張り切り過ぎてギチギチに締め付けちゃってるの…

だけど、滑りがいいから簡単に…

んつ…んおつ…くつ…来る…来ちゃう…奥まで…

ふおおおつ♡ おつ♡ おおおおつ♡

ふつ…ふはつ…ふつ…ふーつ…♡

ぶつといおちんちんで子宮小突かれただけで、イッて…しまったわ♡

はあ…あ…はあ…ふう…ふう♡

全部…入っちゃつたわね♡

ちつにく
膣肉全体がぴつちり吸い付いて、

おちんちんのゴツゴツした形がはつきり分かる♡

凄く固くて、しつかりとした歯ごたえ…

いい…とっても。

んああ♡ これが…欲しかったの…♡

ふう…ふう…ん…はあ…♡

従僕も、気持ちいい？

射精、我慢できる？

ふふつ、優秀じゃない♡

ふつ…ふう…ん…はあ…はあ…んはあ…♡

じゃあ、動くから…ね。

最初は前後にゆっくり、ぐりぐり擦り付けるように…んほおつ！？

おつ♡ おおおつ♡

待つて…これ…ヤバつ…危険…だわ…

くつ…くひつ…ふ…ふーつ♡

私の弱点…クリトリス…ガチ勃起して、プリツと露出…してしまつているせいで…

動くと…あなたの陰毛と擦れて…電流が走つたみたいに…んひい♡

ダメつ…感度良過ぎて、耐えられない…

くつ…ふう…ふう♡

脳みそがショートする…シナプスが、焼き切れる♡

足ガクガクして制御不能。腰…抜けちゃう…んあつ。

私のクリトリス…勃起すると、小指の先くらいあるから…

ふつ…ふつ♡

ちょっと動くだけですが、クリクリつて擦れて、快感…凄いのお…んおつ♡

くつ…何て…この私が、

捕食者でりながらこんな弱点丸出しの敏感ボディだなんて。

だけど負けないわ。この程度の試練、たやすく容易く乗り越えて…

んつ…んおつ♡ おつ…ふ…ふほおつ♡

痺れりゅ…んほつ♡ おつ…おおつ♡

気持ちいい…んひつ♡ クリ、凄お♡ 目の前、バチバチスパークしてりゅ♡

気持ち、いいのぉ♡

ふおつ♡ おつ…おおつ…ほおつ…んつ…んつ…んおつ…

おつ…おつ…おおん♡ くはつ…はあ…はひ♡

奥…子宮…ぐりぐり…んひつ♡ 気持ち…い…ふはつ♡

そこつ…そこつ…ポルチオも…弱いの…弱点なお♡

あつ…あああつ♡ そこつ…奥ダメ♡

亀頭ぐりぐりいつて♡

気持ち良過ぎるう♡

中も外も弱点♡ 弱点だらけ♡

弱過ぎ…ふほおおつ♡

もうイク♡ またイク♡ イクイクイク♡

おつ…んおつ…ほおお♡

負けちゃう…ちよつとおまんこされただけでクソ雑魚サキユバス、イかされちゃう♡
アクメ…ぐる♡

おつ…ほおおおおおつ♡ イツ…グううう♡

ふおつ…おつ…んおーおお…♡

潮、吹いちゃつてる…おしつこみたいにビューつて勢い良く…
はあ…はあ…ふひ…ふひ…

くつ…従僕の癖に、よくもやつてくれたわね…

この私を軽々と、一度も絶頂せるなんて…生意氣だわ！

勝手にイつただけ…ですって？

ええい、問答無用…！

その猪口才な肉棒は、搾精ピストンでお仕置きよ！

私を怒らせた罪は重いわ。

次は絶対に、私より先にイかせてやるんだから。覚悟しなさい…！

集中…集中…
はあ…はあ…

行くわよ…！

ふんつ！ ふつ、ふつ、ふつ！

おちんちん…んおつ♡ くつ…んんつ♡

根本から先っぽまで、余すことなく徹底的に…くひつ♡

お、おまんこで扱き…倒して…やるんだから…！
はつ…はつ…

種搾りプレス…ふほおつ♡

おつ…んおおつ…ほおつ♡ おつ…おおおつ♡

ズボズボ、ズボズボつて…愛液泡立つくらいの激しい腰使い…
んつ…んおつ…耐えられない…でしょ？

トロトロきつきつ絶品おまんこの気持ち良さに負けて…くつ…ふはつ…

とつとと情けなく、敗北射精…しなさい…
んほおつ♡ おつ…ほお…んくつ…ふつ…ふうつ…♡

おおつ…おつ…ふはあつ…くつ…くらつ…んおおつ…ふうつ…♡

くつ…はつ…はつ…

おちんちん、ズブズブ♪
ズブズブ、出たり…入つたり…
はあ…はあ…

一突きごとに肉棒に絡みつく、まん肉の…超密着感♪
中のビダが、ギュウギュウ…ウネウネ、やらしく動いて…んはあつ
うなが

絞り上げるよう、射精を…促してるので…

はあ…はあ…んつ…くおつ♪
はつ…はあつ…

遠慮なく…頭空っぽにして、無様にイッてしまつていいのよ…
ほら、あなたの可愛い鳴き声とアクメ顔…早く見せて…
さあ早く、早く、んんつ♪

おつ…んおおつ…ほおつ…ん…

くうつ…くおつ…くつ…んおおつ♪

ふつ…ふつ…おつ…おつ…ほおつ…おおつ…んおおつ
はつ…くう…んつ…おつ…おつ…おおつ…うつ…くう

さ…さ…さ…すが、頑張るじやない従僕…
でも、そろそろキツインじやない?

ふふつ…これで…どう…?

んつ…ほおつ…おつ…

更に、ギアを上げて…

もつと強く…スピードアップ…んあん♪
あつ…んあつ…激しつ…おつ…ぐうつ♪

子宮…キク…ふほおつ…ガツンガツン響いてる…
おつ…んおつ…ほつ…んおおつ♪

長あいストロークで、思いつ切りバコバコ♪ バコバコ♪
愛液飛び散るくらい熱烈に、腰を叩きつける♪

名付けて必殺、ライデンシャフト・ピストン…!
食らいなさい…んはつ…

おつ…おつ…ふおつ…おつ…んおおつ♪
おつ…ほおつ…くつ…おつ…おつ…ほおつ

ん…おつ…ほおつ…くつ…ふはつ♪

はつ…くつ…はつ…はつ
んおつ…おおつ…ふほおつ
おつ…おつ…くう

精液…出せ…出せ…出せ

おちんちんイケ…イケ…

さつさ」とイツちやえ

んつ…くつ…はあ…

負けろ…降参しろ…

気持ちのいい敗北アクメ決めちゃえ

ほら、ほら、ほら…

出せ…出せ…出せ出せ

はつ…くつ…んあつ…あつ…んつ…くう…ほつ…んおおつ

はつ…はつ…はつ…はつ

ふつ…ふふつ…辛そうじやないの。

おちんちん、もう限界?

なら出せ
私の子宮にぶつかけるの

絶品濃厚ザーメン、お腹いっぱい食べさせなさい

早く…早く…私も…ほおつ…も…もう、限界なんだから…

おつ…おつ…くつ…ふう…んいつ…ふおおつ…おつ…おつ…
あ…ダメ…イク
大つきいの…すつづいの来てる…んあつ…
早く…早く早く…イケ、射精しろ、中出し、ビュルルつて…!

あつ…もう…私、イク…イクイクイク
飛ぶ…飛んじやうの

あつ…！…イツ…イツ…グうううう

うつ…ううう
ほおおおおおつ
おつ…おおつ

おつ…おつ…ふひつ…ふひーつ…

出てる…精液…子宮にたっぷり注ぎ込まれてるう
ほおつ…ふひつ…んん…

すぐお…これ美味ひ…美味ひ

ところけちやう…これ好き…大好き…従僕う

ふーつ…ふーつ

はあむ♡ んちゅ…ちゅ…んんつ…

体、密着させて…上も下も…繋がつて…ちゅつ…お腹満たされて…
くちゅ…ん…すつゞく、幸せ…

じゅる…ちゅ…じゅ…ふ…

れろれろお…んちゅ…ちゅ…じゅるる…
んちゅ…ちゅぱ…れろれろ…はあむ…ちゅるる…くちゅ…
んれろお…ちゅ…れろれろ…
じゅるる…ちゅ…じゅ…れ…れ…れ…
ちゅ…ちゅるる…くちゅ…ちゅ…んはあ…はあ♡

同時にイツちゃつたから、勝負は引き分けね。
残念。後もう少しだつたのに…

けれど…ふふつ♡

媚薬唾液の効果で、再勃起したわね♡

うん、硬さも大きさも衰えてない…まだまだ余裕そう。
ひよお

氣に食わないわね…絶対に次は負かしてやるんだから♡

では早速、2回戦を始めるわ！

なに？ 何度だつてやるわよ？

私が勝つまで…いいえ、私が満足するまで♡

世界を照らす太陽と再び相まみえることになろうとも。

溜めに溜め込んだ性欲が、私の中でドス黒く渦巻いているの。
サキユバスの本能が激しく騒ぎ…

もう、自分の意志では止められない…

さあ…従僕♡

ふつ…ふつ…んつ…んおつ♡

おちんちん…もつと…くつ…ほおおつ♡

おつ…おつ…パコパコ…突いて…んつ…ほおつ…おつ♡

もつと…気持ち良く…んんつ…はあん♡

おまんこと、おちんちん…一緒に…んつ…気持ち良く、なりましょう♡

おつ…おつ…んおつ…おつ…おほおつ♡

子宮ズンズン、キクう♡

んおつ…くつ…ほつ…ふほおつ…おつ…もつと…もつともつと…
奥、ゴリゴリ引っ搔いて♡

んつ…おつ…ほおつ…おつ…おつ…おつ…んおおつ…
ザーメン♡ 精液♡ おかれり頂戴♡

沢山…はつ…はひつ…沢山、出して♡

おまんこに注ぎ込んで♡

出して、出して、出して♡

おほおつ…おつ…んおつ…おつ…ほおつ…んおつ…おつ…
おつ…ふつ…ふひつ…くつ…んおおつ…

おつ…んおおおおおおおつ…

止まりなさい。そう、そこのあなた。
何故私を尾行しているのかしら?

…って、なんだ。従僕じやない。

また遅刻? 本当にだらしがないのね。
私は朝日に弱いから仕方ないのだけれど、
あなたはもつとしつかり…

ん? どうしたのよ、ジロジロ見て来て。

私の背中に何か付いてる?

んつ…んん?

何もないじゃない。まだ寝ぼけているの?
さては、変な夢でも見たのかしら?

ほら。もたもたしてないで、我らの学舎へと向かうわよ。
まなびや

氣を引き締めなさい。

今日も一日、まだ見ぬ世界が待ち構えているのだから…!

あ、そうそう。

精液…まだ足りないから、今宵もよろしく…ね♡

トライック4

[Episode EX 魔心と迫悔の配信]

あー、あー、音大丈夫?
私の声、聞こえてる?
んー……ううう…

さて、集まつてるわね。そろそろ始めようかしら。

欠けた月が満ちる時、闇の世界はざわめき立つ。

満月の夜の宴。煩惱を抱え、愚者達は集う。

混沌渦巻く淫魔の配信…

次元の向こうの下僕達よ。我的名を唱和せよ。

偉大なる主の名を…そう。

我こそは、法龍院刹那ほうりゅういんせつなつ…!

ありがとうございます。

みんな元気にしてた?

この配信に合わせて、ちゃんと禁欲の掟は守っていたかしら?
ふふつ、いい子達ね。

ハーフサキユバスがお送りする。
月に一度のオナニー配信。

今日も私の淫靡いんびな姿をオカズに、自身の肉棒をシコシコ慰めて…
情けなくピュッピュッと無駄撃ちするがいいわ…!

今日何するの?

ええっと、そう。

今回の配信の為に用意したのは…くくく…これよ!
じゃん! 超極太バイブ…!

凄いでしょ?

おちんちんの形状を模したストレートタイプ。やつぱり形はこれでしょ。
んー…改めて見ると存在感凄いわね…
でも表面は…結構柔らかくてしなやかだから入れやすそう。
振動パターン9種類。

他にも回転したり。ピストンしたり、色々あるみたいだわ。

でかつ。

大きさどのくらい？

えつと…あ、挿入長そうにゅうちょう 17センチ。

最大直径7.5センチって書いてある。

黒人超えじやん。

ヤバつ。本当に入るの？

くくく…」の法龍院刹那ほうりゅういんじらな を舐めないことね。

サキュバスの血を引くこの私に、

ハメられないおちんちんなど存在しないわ！

まあでも…ちょっと様子見で前回使った、

ひと回り小さいヤツで慣らしてからにするわね。

んーしょ…ん…

ビビつたわけではない…これは戦略的な見合せ行為。

時には慎重を期するのも、この乱世を生き抜くコツよ。

あ、あつた。こつちも直径5センチあるからそこそこよ。

カメラ、調整するわ。

んつ…これくらい？ 見える？

ふふつ…挑発的なM字開脚き。

パイパンに…みんな大好き、エッチな形の淫紋えんもん がまる見え。

これだけで、年中発情期の下僕達はフル勃起しちゃうでしょ？

濡れてない？

ふつ、画面越しでも分かつてしまふのね？

実はもう、配信始める前からムラムラの抑制が止まらないのよ。

私の体で魅力された、何人もの下僕達がシコシコピュツピュツと。

せつかく頑張つて作つた精液をみーんなオナニーで無駄にさせてしまうの。

とても贅沢で、湧き上がる優越感。

想像するとサキュバスとしての自尊心が満たされて、
おまんこがとろけてしまうのも仕方ないでしょ。

こんなに濡れてたら、
ローション付けなくても簡単に、にゅぽんつ つて入っちゃうかもね。

よいしょ…

まずはそのまま、スイッチは入れずに…んつ…割れ目に押し当てて…
ふう…んつ…ふあつ♡

くちゅくちゅ いつてる♡

はあ…んつ…はあ…あつ…んつ…

ゆつくり、焦らすように…挿入…ふあつ…んああつ…
ヤバ…私のおまんこ…

バイブの先端少しあれただけで、
ギューッて吸い込むみたいに持つていかかる♡

んつ…はあ…おつ…おつ…ミチミチ…咥え込んで…んつ…はあ…
お汁垂れちゃつてる♡

はあ…んつ…奥…届く…んつ…おつ…んおおつ♡

ふーつ、ふーつ、ふーつ♡

全部、入っちゃつた♡

ほら、余裕でしょ？

気持ち良さそう。
ぶち犯したい。

ふふつ…もし私を街で見つけたなら、遠慮なく声をかけなさい。
即ハメしてあげるわ。

もつとも犯されるのは私ではなく、あなたの方だけど♡

ふつ…んん…ああ…子宮の入口、ぐりぐりするの…
感じ…ちやう…んはつ…あつ…ああつ♡

凄く締まって…偽物ペニスに膣壁あつへき、ファットして…
ギュッ、ギュッつて精液ねだつて伸縮しているわ。

ほら、これが自分自身のだと想像しなさい。

吸い付くみたいに、ウニュウニュつて。

やらしいヒダがまとわりついて、扱き上げちゃつてる♡
じい

あつ…んん…はあ…んあ…はあ♡

早漏の者ならこれだけで果てちゃうかもしないわね。

んつ…はあ…そろそろバイブのスイッチ、入れてみようかしら。♡

ここを…んつ…んああつ。♡

あー…♡ あつ…あつ…あー。♡

そこつ…キクう…んつ…んおつ。♡

まん汁…また溢れてくる。♡

んおつ…おつ…おおつ。♡ あつ…くう。♡

バイブ…振動、気持ちいい。♡

あつ…あつ…んおつ…ふつ…ふつ…

やつぱり…んあつ…

本物のおちんちんが一番だけど、これも…んつ…悪くない。♡

あつ…んあつ…くつ…ふう…んん一つ。♡

足、勝手にピーンつて伸ばしちゃう。♡

ふ一つ。♡ ふ一つ。♡

全身の筋肉が、快樂を逃がそうとして…んん一つ。♡ んつ、んつ。♡

おつ…んおおつ…ほおおつ。♡

すつ…い…れ…んつ…ふほお。♡ はつ…はあ…。♡

ダメエ…おまんこで、ブルブル震えるの…

この感覚、ハマつちやつてるかも。♡

くおつ。♡ おつ…おつ…

奥、コツンコツンするとお尻跳ねて…恥ずかしく空腰振つてる。♡

おちんちんじやないのに、勘違いしてると愚かなまんこ。♡

んおつ…くつ…おつ…おつ。♡

ピストン…ほおつ。♡

えぐられるみたい…んはつ。♡

出し入れしてるとこ、見て。♡

はつ…はつ…んほおつ。♡ ふ…くうつ…んつ…んつ…おおつ。♡

ズコ、ズコつて…んつ…くふつ…んつ…はあ…はあ…んおおつ。♡

そこつ…そこつ…ポルチオ…ゴリゴリ。♡

イイつ。♡ ヤバヤバつ。♡

我慢…効かなくなる。♡

おつ…おおお。♡ イク。♡ バイブオナニーでアクメつちやう。♡

んつ…んつ…イク。♡ おまんこイグう。♡

おつ…おつ…おおおおつ。♡ んおおおお…。♡

ふひつ…ひ一つ…ひ一つ…はひ…はあ…はあ…

んつ…んおつ♡ はあ…はあ…あ…はあ…

バイブ抜いてもぽつかり穴が空いてる…アビスが覗いているわ…
様子見の前戯のつもりだったのに、深イキしちゃつた♡

でもこれで、中までしつかり解れたから案外、
例の7センチオーバー超極太バイブもすっぽり入っちゃつたりして。

みんなもう射精しちゃつた？

まだイケる？

ふん、ふん。

ふふふつ、あなた達、元気一杯ね。

好きよ、性欲旺盛で絶倫の下僕達は♡

さてと…では本命の…んしょ…超極太バイブ。
最大記録に挑戦するわよ♡

刹那様なら余裕でしょ。

くくつ、当然♡

一気に突っ込め。

ふむ…そうね。

慣らしながら入れたいところだけど、それだと地味で配信映えしないし。
時には慎重に、時には大胆に。

ということで、ひと思いにズボッと奥まで挿入してしまおうかしら。
そうにゅう
いいわね、採用よ。

こうして…ほら、かなり太いから自立も安定するのよね。

イスの座席に真っ直ぐ立てて…がに股で跨またがつて…と。
どう？ 入るところ見えるでしょ？

体重をかけて、このまま一気に奥までぶち込むわ♡

ふう…んつ…はあ…

先っぽを、おまんこに当てて…
んつ…あつ♡ はあ…はあ…

見てなさい。法龍院刹那の超極太バイブ一気飲み♡
ほうりゅういんせつな

この配信は、やがて伝説となる…ふんつ♡

さあて。興奮収まらない内に、行くわ。

新たな境地へと…

せーの…ふんつ♡

んのおおおおおおおおつー? おつ…んおおおおおおおお♡

ひつ…くひつ♡ おつ…おつ…くひーつ…くひーつ♡

ふつ…ひつ…おつ…ふほお♡ んぎつ…いつ…ひいい…

おつ…おつ…おつ…おおおおおおつ…おお♡

おま…ん…おつ…おま…ん…ふほお♡

ギチギチ…ギチギつ…ほおつ…おつ…おつ…ほおつ♡

イグ…ま…またイグ…無理…無理無理無理い♡

んぐうううううつ♡

うつ…んうう♡ ふお…ひつ…ひつ…ひーつ♡ ひーつ♡

おつ…おふつ…んおつ…くひつ…くひつ…

あつ…はひつ…これ、ダメなやつ…

子宮と、ポルチオ…ギチギチで…ずつと…んつ…く、ふう♡

弱いと…、刺激…されてる…おつ…お腹…あちゅい…ふぎつ♡

ヤダ、止まつて…おまんこの中、

痙攣して…勝手に弱点攻められりゅ…

スリスリ…スリスリつて…気持ちいいのが止まらない…んおつ♡

おつ…おつ…んおおおつ…また…また来る♡

ダメダメ止まつて♡ イク♡ イク♡

んぎいいいつ♡ イグイグイグ♡

イグうううううつ♡ んほおおおつ♡

おつ…おほおおつ…おつ…おつ…んお♡

ひい…ひい…ふひい…くひーつ…くひーつ♡

ぬ…抜かにやいと…これ、マジでヤバ…

ガチイキエンドレスモード…入っちゃう…ふひつ…ふひつ♡

んつ…んあつ…体に…力、入んない…バイブ…抜けにや…あつ…ひつ…

お汁でヌルヌルして…滑る…んつ…この…抜け…抜け…ろ…

んひいいいい…違つ…スイツチじやな…ほおおおおつ…
止めて…止めて…

んおおおおおお…おつ…おつ…おおつ…
ブルブル止まつて、止まつて…

ぎもぢよすぎ…いつ…いいいいつ…
ああ無理…イグ…まう…イグ…

んじ…おおおおつ…おつ…ふぎいいい…

くひつ…ふひつ…んにいい…ひい…ひい…んひい…
たしゆけて…んおつ…誰か…たしゆけて…ふひい…
おおおおつ…おおつ…

動けにやい…体、バイブと一緒に痙攣してりゅ…
おつ…おおおおつ…おつ…おつ…おおおおつ…

超極太バイブ…負けました…負けました…
クソ雑魚サキュバス、バイブに降参…
ゆるひて…ゆるひてえええ…

ほおおおおつ…んおおおおおお…おつ…おつ…
抜け…て…抜け…て…バイブ…抜けて…
お願ひひまひゅ…ふつ…ふつ…ふーつ…うつ…うつ…
抜け…て…ふぎいつ…?

おつ…おつ…んほおおおおお…
違つ…ちがちがちがつ…モードチェンジじゃない…
バイブ暴れりゅ…
お腹、ぐるぐるかき回されてりゅ…

んおおおつ…おつ…おつ…

イグイグイグ…おまんこイグ…

イグううううう…んのおおおおつ…

うつ…うつ…んううう…

おつ…おつ…んおおお…

また…イグ…イキながら…イグのおおおおお…

ほひいいいいいい

おつ…おつ…おつ…ぐりぐり…ぐりぐり…んおおおつ…おつ
内臓ヤバつ…死ぬ

極太バイブにお腹の中グチャグチャにされて死んじやう
ヤダヤダヤダア

んおつ…おつ…おほおつ
おつ…んおおつ…おつ…おおおつ
止めて…ぐりぐり止めて…止めてええ
ふおつ…ほおおつ…おつ…んおおつ

あつ…イグ

イグイグイグ

無限ループクソ雑魚敏感まんこ

、イグ

もうイギつぱなし

脳みそ壊れりゅ

うつ…ううつ…んいいいつ

一番大きいの、来る…頭、破裂しちゃうつ
もうらめ、あつ…あつ…パパ…ママ…んあつ…
イツ…イツ…イグう…

イツ…イグ

イグイグイグうううううう

ぬふおおおおおおおおおつ

おつ…おつ…おつ…ぐぎつ…うぎぎぎい

ふぎいいいい

ひ一つ…ひ一つ…ひ一つ

…あつ…

す一つ…す一つ…す一つ…す一つ…す一つ…